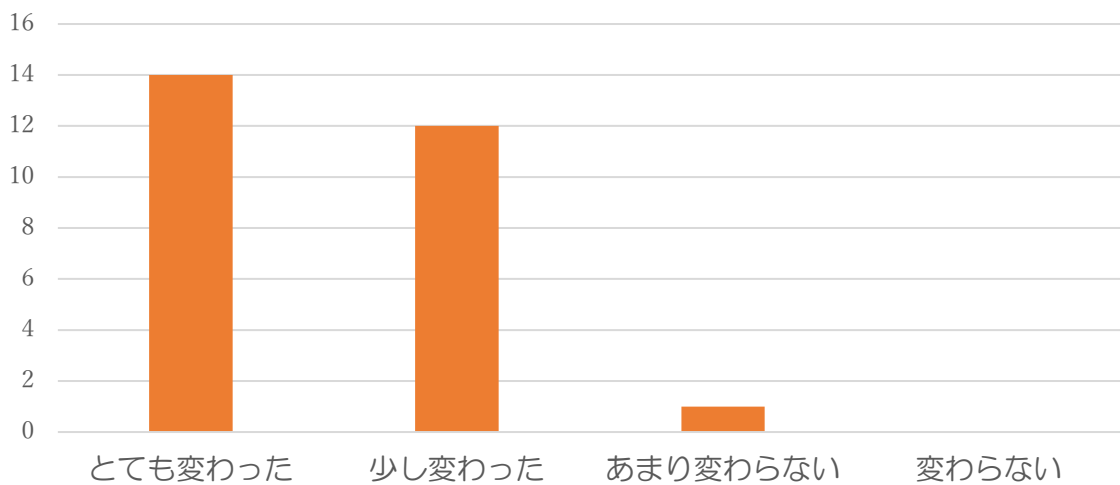


## Q2受講前後の公文書管理に関する意識の変化



### 【「とても変わった」その理由は？】

<p>文書のライフサイクル、レコードスケジュールを普段から意識していくことで（これまであとまわしになっていた）公文書管理を通常の業務ととらえて行っていけると感じました。</p>
<p>日々のファイリングに気をつけるよう努めなければならないと思いました。</p>
<p>メモレベルの保存の必要性については考えがなかったので今後は必要性を考えながら保存していきたいと思います。</p>
<p>公文書管理に携わる立場として、公文書管理に関する全庁的な意識づけと取り組みの必要性を感じた。</p>
<p>文書の整理をする時間も確保するべきだと思いました。</p>
<p>住民への説明責任が職員にはあると思いました。自分が「レコード・マネージャー」であることを意識して、本来業務であることを常に忘れず日々の業務を行っていきたいです。</p>
<p>情報公開、説明責任を町民の皆様におこなう重要性を改めて感じ、公文書管理は大切な業務であるという意識を持ちました。</p>
<p>「記録」を残すという事はすごく大事なんだなと実感した。</p>
<p>講座を受ける前は、なぜ文書を残す必要があるのか、疑問があったが文書によってこれまでの歴史や、行政の判断が正しかったりなど、現職員が昔の資料を参考するなど沢山の役割があることが分かりました。</p>
<p>公文書管理と聞いたら”政治”というイメージしかありませんでしたが色々なことを深く、分かりやすく講義されており、身近なものだと意識が変わりました。</p>
<p>講座を受けて、公文書管理の必要性を認識するようになり、また、管理の必要性を感じる機会となった。</p>



## 【「少し変わった」その理由は？】



今は文書を廃棄することに重点を置いているが、今後は歴史的文書の保存についても意識していきたい。

「公文書管理に関する講座」に参加する事によって、改めて公文書管理の重要性を確認することができた。

説明責任の重要性

業務の記録が、後々町の歴史になっていく、と考えると、文書管理について、今まで以上に力を入れていかなくてはと思いました。

公文書管理に対し、業務に付随するもの、業務の一環である。決して付録ではないよという言いまわしは、新人のうちに意識に入れ込むべきですね。

現在及び将来の住民に対する説明責任を全うするため日々の文書管理をもっときちんと行っていこうと改めて思ったため。

何故こんなに細かく行うのか、1年目は少し疑問もあったため。

普段の業務も大切だけど、文書の管理も大切だと思えたので、雑にあつかうことはなくなると思います。

公文書管理は将来の住民に対する説明責任という意味があることがわかり、日々きちんと文書管理をしていかなければと思いました。

公文書管理の歴史等を学ぶことができた。

何故公文書管理が必要なのか。何故厳格でなければならないのかといった面や、アーキビスト、レコード・マネージャーといった役職など広範に学ぶことが出来たため。



## 【「あまり変わらない」その理由は？】



公文書管理が重要ということは理解していますので、そういった意味では変わりませんが、まだまだ勉強不足の部分があるので、学んでいきたいと思っています。